

支部活動のご案内

兵庫県保険医協会神戸支部 医科歯科連携研究会

糖尿病と歯周病

日時: 11月11日(日) 午後2時~

会場: 兵庫県保険医協会会議室

JR・阪神元町駅南へ徒歩7分

共催: 協会歯科部会

日本糖尿病協会

「療養指導医取得のための講習会」

「歯科医師登録医のための講習会」

登録済

*当日受講票をお渡しします

糖尿病治療の最新の話と歯科との連携

灘区・こたに糖尿病内科クリニック 小谷 圭 先生

近年、ヘルスケアにおける口腔と全身との関連が科学的に研究され、歯周病が糖尿病の第6の合併症といわれるようになってきた。そして、歯周病治療が糖尿病を改善する可能性も報告され注目を集めている。ところで糖尿病治療は新薬の登場により大きくパラダイムシフトを遂げており、最新治療について解説したい。また、糖尿病患者さんの歯科へのアンケート調査を解析し、よりよい医科・歯科連携について考えてみたい。【小谷記】

歯周病と歯周病治療の特殊性

中央区・神戸ルミナスデンタルクリニック 川西 敏雄 先生

まず、歯周病と歯周治療の特殊性について、専門用語を出来るだけ使わずに基本知識のおさらいとしてわかり易く説明する。歯周病の予防・治療の重要性が唱えられて久しいが、その数は未だ多い現状である。最近何かと注目を浴びているインプラント治療。金属なのでカリエス(虫歯)にはならない。しかし患者が手をこまねいていると立派に歯周病になってしまう。当日は糖尿病を含め色々な話題提供をしたいと考えている。是非スタッフ・ご家族の方々も含め多くのご出席をいただきたい。【川西記】

—お問い合わせは TEL 078-393-1817 神戸支部担当 納富(ノリミ)・横山まで—

参加お申し込み FAX返信: 078-393-1802

地区	区	医療機関名	
参加者氏名		参加人数	人
連絡先TEL			

兵庫県保険医協会

255号 2012年10月25日

神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

速報

第33回神戸支部総会・記念講演

神戸支部は10月20日、協会会議室で第33回総会を開催し、医師・歯科医師など55人が参加した。記念講演では岩田健太郎神戸大学大学院教授が「インフルエンザを含む感染症外来の最新の話」と題して講演。感染症治療の考え方の歴史的な変遷や最新の研究をわかりやすく解説した。

総会は2012年度方針として、会員の身近な要求に沿った支部活動を展開するとともに、神戸医療産業都市構想やこども病院移転問題、2013年に予定される神戸市長選挙で開業保険医の要求実現と



記念講演には50人が参加し学習した

地域医療の充実のため活動することを決めた。また、今後の支部活動を担う新たな役員を選出した。(詳報次号)



武村副支部長が挨拶し、参加者を激励した

神戸支部が事務局団体を務める「神戸・市民要求を実現する会」は、10月14日に「要求実現をめざす市民集会」を開催、120人が参加した。神戸支部からは、武村義人副支部長、林祐介幹事が参加した。

集会では嶋田正義福崎町長が「憲法と地方自治の期待にこたえた住民が主人公

「神戸・市民要求を実現する会」市民集会で市政課題を交流

のまちづくり」をテーマに、元自治労連副委員長の田中章史氏が「民主主義と守り市民のための仕事をする市役所へ」をテーマにそれぞれ講演。リレートークで市政要求運動の課題と到達点を交流し、「市民のいのちと暮らしを守る神戸市政に」の統一スローガンと「国保料引き下げや県立こども病院誘致中止など8つの重点要求、予算要望書を確認した。

武村副支部長は挨拶で、「どこを切っても金太郎飴にならないよう多彩な運動を進めよう」と参加者を激励した。



「規定路線」という 日本特有の重大な問題点

山中 忍 先生(灘区)

環境問題に取り組みつつここ数ヶ月で改めて日本には、規定路線と言う日本特有の重大な問題点が存在する事が再認識させられ驚愕している。

身近な話題では、小豆島の無駄ダムは、民主党が無駄ダム認定をしたにも関わらず県知事や島内の現状維持を希望する規定路線により、従来通り建設されてしまった。

政府がパブリックコメントの結果から脱原発路線を目指しても大飯原発は再稼働し、大間原発は小豆島ダムと同じ既に着工済みとの理由をつけて工事が認められて行く。

ドイツやデンマークの様に再生可能エネルギーを導入したい国民は沢山存在しているが、肝心の国が原発村を抱え込んでしまっているのが国家的な再生可能エネルギー導入の動きは極めて鈍くなっている。更に日本の地方は疲弊し人口が減り、僅かな利権やお金に群がる椅子取りゲーム状態に陥っている。明らかに方針転換不能と言う規定路線による悪循環があるように思えてならない。

さて私が想像する規定路線とは、現状維持を基本にした支配者の意向だと考えている。

支配者は、時には多国籍間で意図的な茶番劇まで演出し、平和を切望する人々をその規定路線と言う支配構造に引きずり込んで行く。これでは、無常という変



協会環境公害部の小豆島ダム建設視察会で(2012年5月) 向かって一番右が山中先生

化に迅速に対応できる状態とは到底言い難く、日本は未来的対応が出来ず古い路線のまま想定外の連発になって行くのである。

この日本の規定路線と言う支配者は、アメリカとその連合組織では無いのか？

政治家や官僚の中にも規定路線追従の支配者の一味が沢山存在し、原発の再稼働と消費税増税そして駄目押しがTPP参加と言う支配者アメリカ連合にとって都合な規定路線の肯定と言う筋書きが出来ている様に感じられる。

この様な支配者の規定路線には莫大な権力が存在し容易には逆らえない現実がある。原爆を落とされても未だに国家としてまともにアメリカに文句を言えない現実がある。

皆様はこのアメリカ支配構造の規定路線にどう立ち向かいますか？再び異常な

(2面からつづく) -----
戦争をしますか？ 従属しつづけますか？

この規定路線により戦後60年以上も日本の平和と繁栄が維持されて来たのも事実であり忘れてはならない歴史がある。それゆえに支配者と戦わず、したたかに規定路線を追従しつつ、かつ現状の問題点の打破を慎重に模索する方法はあながち間違いとは言い切れない様にも思われて来た。どうしても早急に原発村が消せないのならば安全でコストが非常に安く核廃棄物が無いとされる??服部楨禎男氏と電中研そして東芝が連盟で特許を有する「超小型原子炉」の研究なども検討して行く必要性を感じてしまうのである。

今現実に規定路線に対抗可能な事は何だろうか？

先日開催された兵庫県保険医協会の和田武先生(日本環境学会会長)の講演会の内容から示唆された事は、電力業会や原発村と言う規定路線への対抗は、個人や民間単位でまず電気代金を節約する、次に太陽光発電などの再生可能エネルギー導入する、余力があれば自家発電を行うなど市民運動的な活動を行う事であり、それが極めて重要な事だと思われて来た。

改めて規定路線に対抗出来るのが、国民の一人一人の個の力でありそれらが集まり何らかの総意を示す事では無いのかと思う様になって来た。

再び身近な話題に戻れば、姫路夢前町では6万人もの産廃処理場建設反対の署名が集まっているが、法的には産業廃棄物処分場建設側が大変有利となっている。

法律で守られている規定路線を変更するには署名だけでは危い。ネットワークや政府のパブリックコメントの様なアンケートなども含めあらゆる方法で市民や国民の意思を示さなければ勝ち目は無い。

今日本は重大な岐路に立たされている。最後まで油断せず、あらゆる考えられる知恵や方法を取らなければ日本に深く浸透する支配者の規定路線を打破する事は到底不可能だと思われて来た。

※「既に定める(既定)」より強い意味で「規定」を使った。

支部ニュースへの投稿を募集しています



日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

電話 078-393-1817/FAX 078-393-1802
e-mail ntm@doc-net.or.jp 担当: 納富まで

普及にご協力ください! 秋の患者・市民向け大型宣伝

ラジオ関西番組出演&景品付きクイズチラシ

558ラジオ関西 558
「奇台一紀とい・しよく・ひゅう」
医療知ろう!
AM 558kHz / 1395kHz (福北郡)
2012年10月~2013年3月
放送時間 毎週木曜日 PM 7:00~9:00
コーナー PM 7:40頃~8:00

好評放送中!!

日本の医療をクイズで考えよう!
窓口負担を **無料** にできるって本当?

全問正解者から抽選で豪華景品をプレゼント!

協会会員による聴く医療情報です。ぜひ患者さんにお勧めください。

お問い合わせ、クイズチラシのご注文は TEL078-393-1807 まで

ラジオのご視聴、クイズへの応募は協会ホームページでもいただけます <http://www.hhk.jp/>